

元気なひと なにかま



鈴鹿抹茶ブランド化研究会

◎お茶どころをアピールしたい

さまざまな地域資源を有する鈴鹿市ですが、全国的には「お茶どころ鈴鹿市」という事実はあまり知られていません。お茶の生産量全国第3位の三重県の中でも、トップの生産量を誇っています。

こうした事実をもっと知ってもらおうと、「抹茶」を切り口として「鈴鹿市=お茶どころ」を広くアピールするため、事業者や産業関連団体などが集まり、昨年「鈴鹿抹茶ブランド化研究会」を結成しました。

◎鈴鹿抹茶の特長とは？

「鈴鹿抹茶」とは、鈴鹿市産の茶葉を100%使用して製造された抹茶のことで、他産地の抹茶と比べ、粒度が細かく、旨み成分が強いのが特長です。こうした特長を生かした和・洋菓子、そばなどの新商品の開発、販売も始まっています。鈴鹿抹茶が皆さんに親しま

れ、鈴鹿市の活性化につながるような活動をめざしていきます。



問合せ：鈴鹿抹茶ブランド化研究会事務局 ☎370-0878 (太門通商棟内)

※この事業は、三重県「地域の産業の絆づくり支援事業費補助金事業」の認定を受けています。

モータースポーツに学ぶ

交通安全

おわりに

私は以前、国内のフォーミュラレースを中心に活動し、ヨーロッパでのF3レースにも参戦し、10数年のレース活動を終えて引退しました。その間、激しい戦いのレースを幾度も経験してきましたが、幸い、かすり傷ひとつ負うことなくレーシングドライバーのキャリアを終えることができました。その理由としては「常に、この先で何かあったら、と危険の状況を想定しながら運転してきた」ことが大きかったと思います。

このことは、今も公道の安全運転に役立っています。

例えば、見通しの悪い場所では、この先で渋滞や事故などで車が止まっていないか、あるいは、横道から自転車や人が出てこないか、というように常に危険の想定をしておく、万一の場合の対処に大きな差が出ます。そして自分自身にも、今、走っている道に「自分の子どもがいても、あるいは、自分の親が歩いていても」今の運転で大丈夫か、と問い掛けることも大切なのです。



写真は筆者が英国F3レースに参戦していた時のもの

レーシングアドバイザー 畑川治 (鈴鹿モータースポーツ友の会 理事)

広報すずか 2012年3月5日号

キーボード

2月は寒い日々が続きましたが、最近、ようやく春らしくなってきましたね。さて、皆さんは何に対して春の訪れを感じますか。私は野や町に咲く花々です。庭先のウメの木が一つ二つと花を付け始めると、心も春の陽気のように温かくなってきます。4月ともなればサクラやパンジー、チューリップなどが一斉に咲き始め、一気に春本番を迎えます。

今、北勢地方の市町が連携し、「北伊勢で遊ぼう！

花と食の回廊スタンプラリー」を開催しています。花の名所を巡りおいしいものを食べようというイベントです。スタンプを集めると抽選で特産品も当たります。

陽気もよくなり、そろそろどこかへ出かけたいと思いませんか。地元の良さを見つけにぜひこのイベントにご参加ください。スタンプ台紙は市商業観光課や鈴鹿市観光協会などで配布しています。(眞)



鈴鹿市携帯サイト
「元気モバイル」

■発行/鈴鹿市 〒513-8701 鈴鹿市神戸一丁目18番18号 ☎059-382-1100 (代表) ↑ <http://www.city.suzuka.lg.jp/>
 ■編集/企画財務部秘書広報課 ☎059-382-9036 ☎059-382-9040 ✉ hishokoho@city.suzuka.lg.jp
 ■印刷・制作/指定就労継続支援事業所 第2八野ワークセンター印刷係
 ☎059-375-4381 ☎059-340-8810



古紙配合率100%再生紙を使用しています。この冊子は資源ごみの「新聞」に分別してください。